

令和6年 7～ 9月期の大型コンクリート製品の出荷状況は、前年比でプラス38%となっている。
出荷の内訳は、大型 BOX 類が 78%で、北陸地整にて浦佐地区改良工事、同局の朝日温海道路勝木地区改良工事、同局の竹尾 IC 事故対策工事に納入された。次いで、スノーシェット・スノーシェルター類が 20%で、秋田県の北秋田国道雪寒対策工事に納入された。次いで、コンクリート舗装版が 2%で、国道 159 号尾張町融雪設備工事に納入された。
他、長尺側溝類、ダム監査廊の納入は無い。

大型コンクリート製品出荷量の推移 (単位：％、千 t)

県 名	令和5 年度計	令和5年度					備 考
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	累 計	
新潟県	+38	▲71	+231				
	2. 50	0. 44	1. 56				
富山県	+0	+14	▲∞				
	1. 56	0. 40	0. 00				
石川県	+100	▲∞	▲∞				
	0. 08	0. 00	0. 00				
3 県計	+23	▲53	+38				
	4. 12	0. 84	1. 56				

(注) 大型コンクリート製品とは、大型ボックスカルバート(幅4m高3m以上で分割製作されたもの)、長さ5m以上の長尺側溝類、監査廊、コンクリート舗装版(融雪舗装版を含む)、スノーシェット、スノーシェルターをいう。

『一般社団法人 北陸土木コンクリート製品技術協会』 <http://www.hokudocon.jp>